

障がいのある方の舞台芸術活動と鑑賞支援に関するアンケート

【集計と考察】

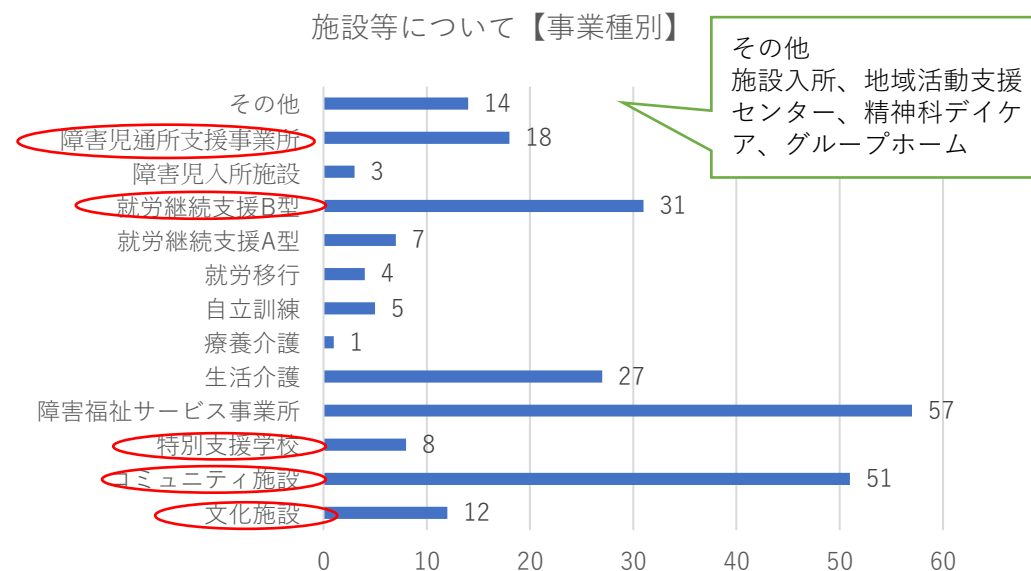
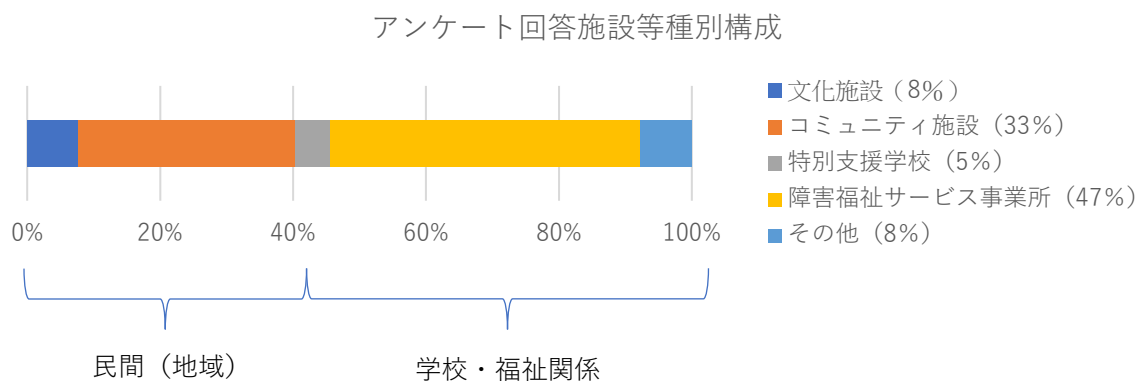
令和4年2月

島根県障がい者文化芸術活動支援センター
アートベースしまねいろ

令和3年度 障がい者の舞台芸術と鑑賞支援に関するアンケート調査実施の概要

調査方法	記述式アンケート調査	
目 的	島根県内の舞台芸術活動に対する取り組み状況や、鑑賞に対する関心度や鑑賞支援に関することの内容や傾向を把握し、支援センターの運営の一助とする。	
調査対象	島根県内の公民館318カ所（コミュニティ施設）、公立文化施設（協議会加盟施設）27カ所、特別支援学校17カ所、障害福祉サービス事業所346カ所の合計708カ所（回答数：156カ所 回収率：22%）	
調査期間	令和3年9月15日～令和3年9月30日	（郵送配布、FAX・E-mailで回収）

【調査結果】 施設等について



○ アンケート調査対象の施設等の構成は、民間（コミュニティ施設・文化施設）と福祉関係（特別支援学校・障害福祉サービス・その他）でおよそ半数ずつであり、アンケート回答は4割（民間）と6割（福祉関係）の構成となった。

○ 障害福祉サービスの回答事業所は、就労継続支援B型、生活介護、障害児通所支援事業所の回答が多かった。

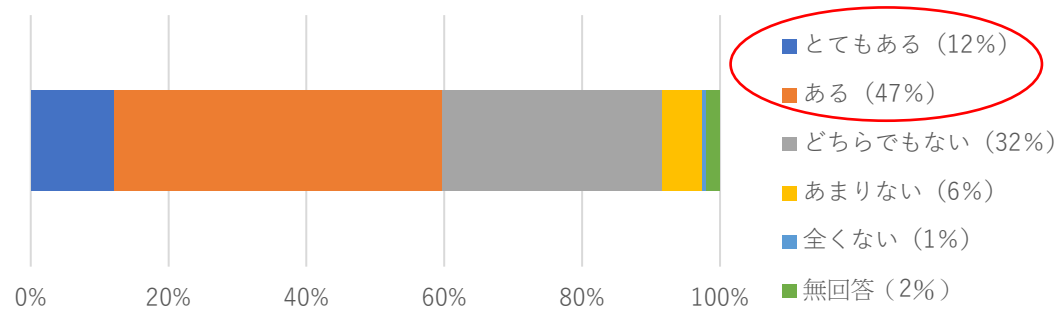
調査結果 【全体】

アンケート内の<舞台芸術のカテゴリについて>（参照）

- 音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）
- 演劇（劇、児童劇、人形劇、ミュージカルなど）
- 舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）
- 伝統芸能（雅楽、能楽、文学、歌舞伎、神楽など）
- 芸能（講談、落語、浪曲、漫才、和太鼓など）
- 生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）
- その他、上記の分野には当てはまらないものの、文化芸術に類するものと考えて実施している活動

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について

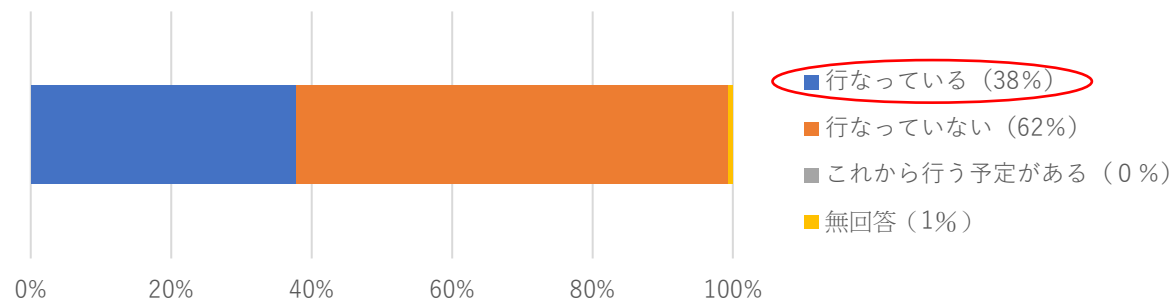
1. 障がいのある方の舞台芸術活動に関心がありますか？



舞台芸術活動に関心があるが約6割

○ とてもある・あるは全体の59%、どちらでもない・あまりない・全くないは全体の39%だった。

2. 舞台芸術活動を行っていますか？

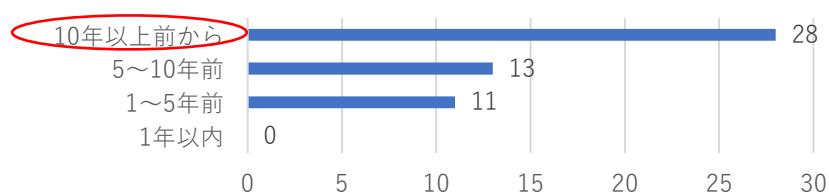


舞台芸術活動を行っているが約4割

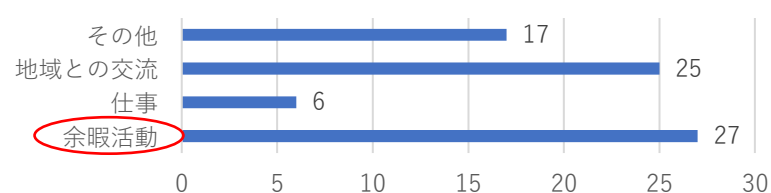
○ 行っている（38%）よりも、行っていない（62%）方が大きく上回った。

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について

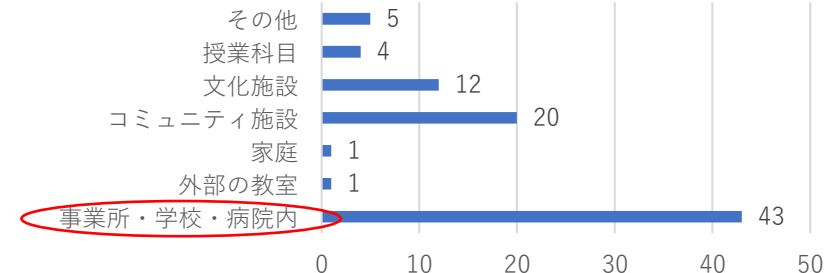
3. 現在の取り組み【いつから】



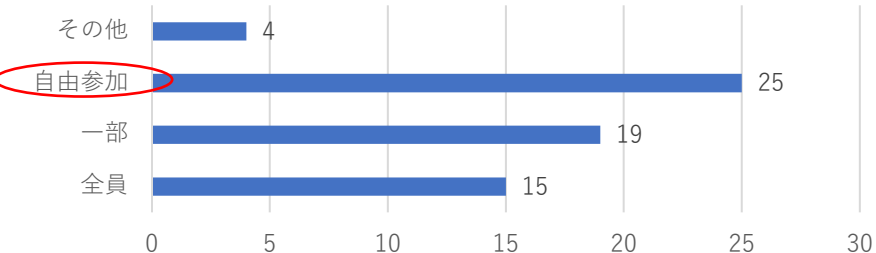
3. 現在の取り組み【目的】



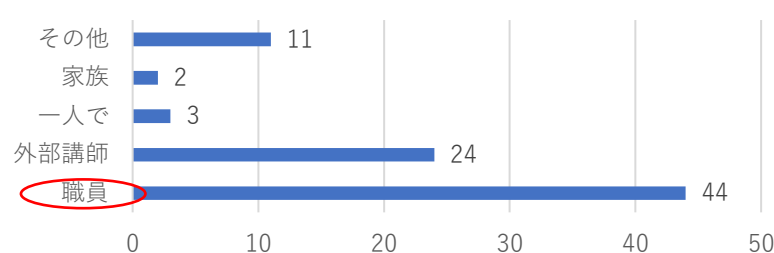
3. 現在の取り組み【場所】



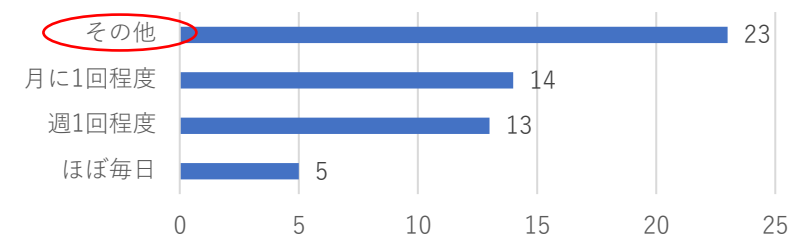
3. 現在の取り組み【誰が】



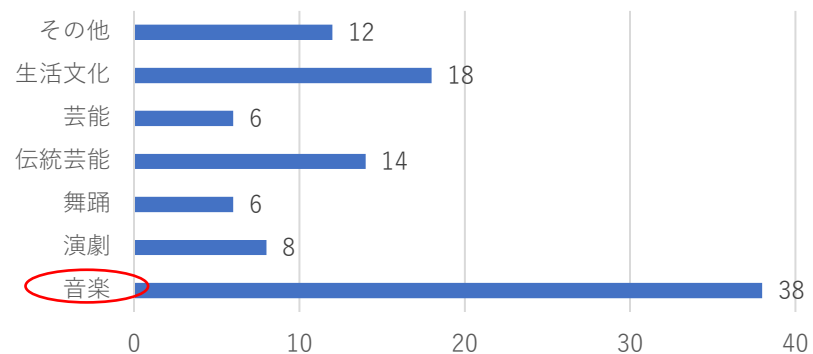
3. 現在の取り組み【誰と】



3. 現在の取り組み【頻度】



3. 現在の取り組み【内容】

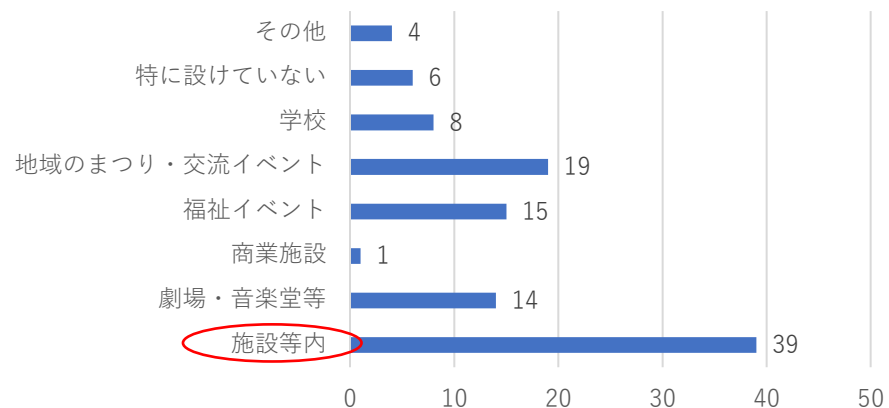


「舞台芸術活動を行っている」と答えた方は、

- 10年以上前から取り組んでいることが多い。少なくとも1年以上は取り組んでいる。
- 目的は、余暇活動、地域との交流のためが多い。
- 事業所・学校・病院内で行うことが多く、続いてコミュニティ施設、文化施設で行っている。
- 全員で行うよりも、自由参加や一部の人で行う方が多く、職員や外部講師と一緒にいる。
- 頻度はその他、月に1回、週1回程度が多い。
- 活動内容は音楽活動が多く、生活文化、伝統芸能と続いている。

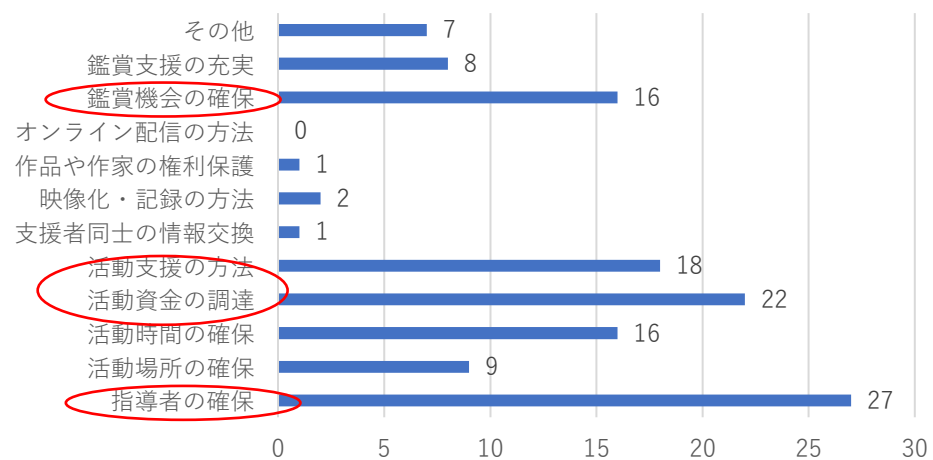
【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について

4. 発表の場はどこですか？（複数回答可）



○ 発表の場は、施設等内で行うことが多く、次いで地域のまつり・交流イベント、福祉イベント、劇場・音楽堂等と続いている。

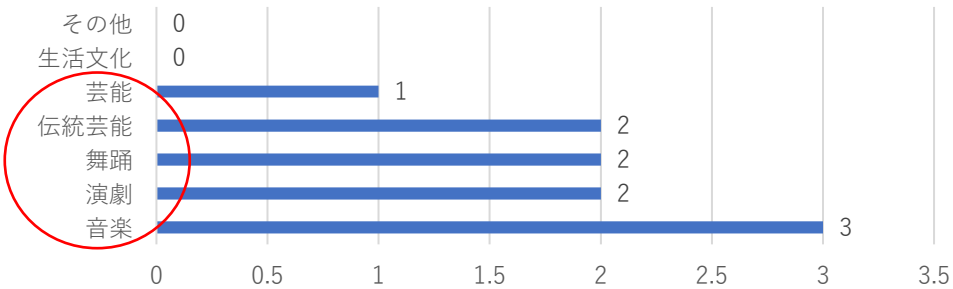
5. 舞台芸術活動における課題としていることはありますか？（複数回答可）



○ 活動を行う上での課題として、指導者の確保、資金の調達、支援の方法、鑑賞機会の確保が多かった。

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について

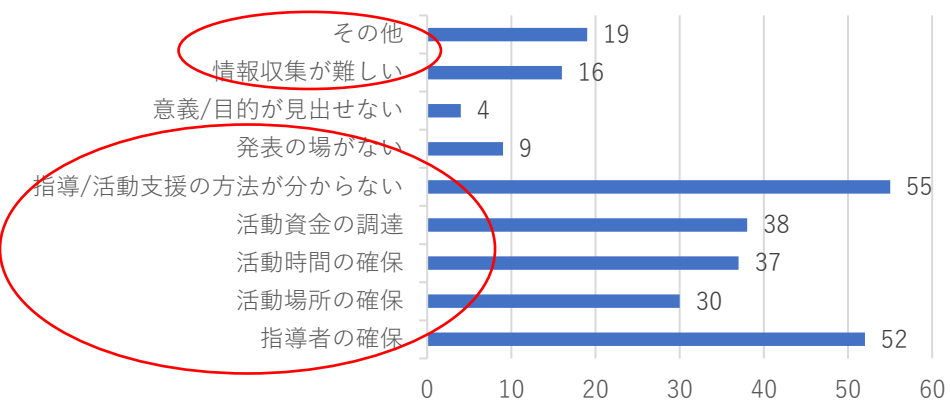
6. どのような活動を行いたいと考えていますか？



「これから舞台芸術活動を行う予定がある」と答えた方は、

○ 音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、芸能と平均的な選択結果であった。

7. 舞台芸術活動を行う上での課題はありますか？

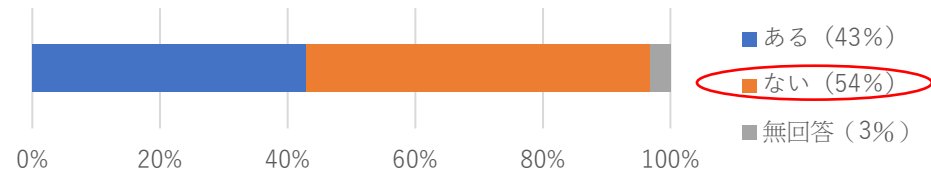


「舞台芸術活動を行っていない」または「これから行う予定がある」と答えた方は、

○ 意義・目的が見いだせないことなく、具体的実践として指導者や活動場所・時間の確保や、支援方法が分からないという回答であった。

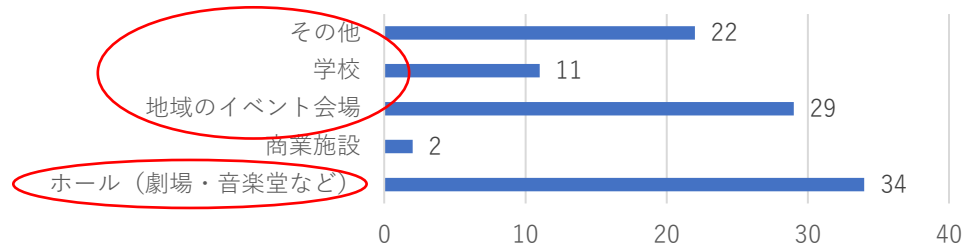
【調査結果】 鑑賞の機会（鑑賞支援）について

8. これまでに「鑑賞の機会（鑑賞支援）」を設けたことがありますか？



○ 鑑賞の機会（鑑賞支援）を設けたことが「ある」よりも「ない」の方が上回った。

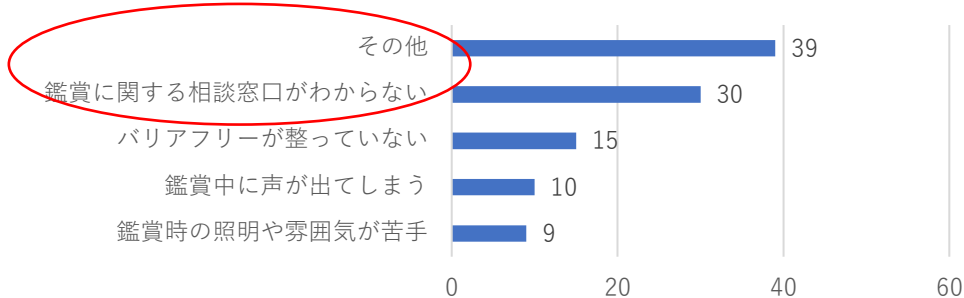
9. 「ある」と答えた方、どこで鑑賞を行いましたか？



「鑑賞の機会（鑑賞支援）を設けたことがある」と答えた方は、

○ 劇場・音楽堂などのホールや地域のイベント会場、その他での鑑賞が多かった。

10. 「ない」と答えた方、「鑑賞の機会（鑑賞支援）」を設けていない理由や課題はありますか？



「鑑賞の機会（鑑賞支援）を設けたことがない」と答えた方は、

○ その他・鑑賞に関する相談窓口がわからない理由が多かった。

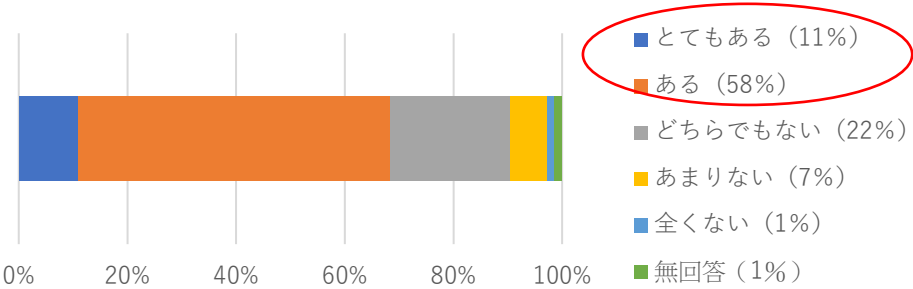
調査結果 【施設等種別】

アンケート内の<舞台芸術のカテゴリについて> (参照)

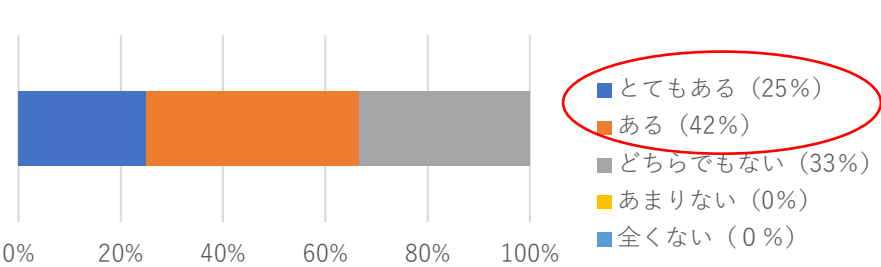
- 音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）
- 演劇（劇、児童劇、人形劇、ミュージカルなど）
- 舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）
- 伝統芸能（雅楽、能楽、文学、歌舞伎、神楽など）
- 芸能（講談、落語、浪曲、漫才、和太鼓など）
- 生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）
- その他、上記の分野には当てはまらないものの、文化芸術に類するものと考えて実施している活動

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 1. 障がいのある方の舞台芸術活動に関心がありますか？

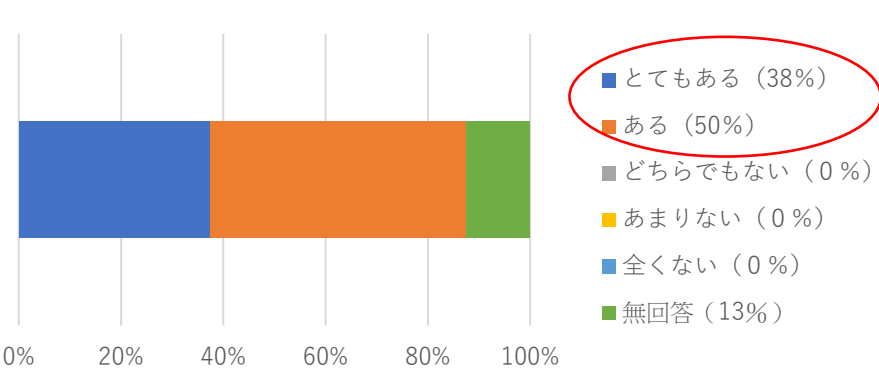
【障害福祉サービス】



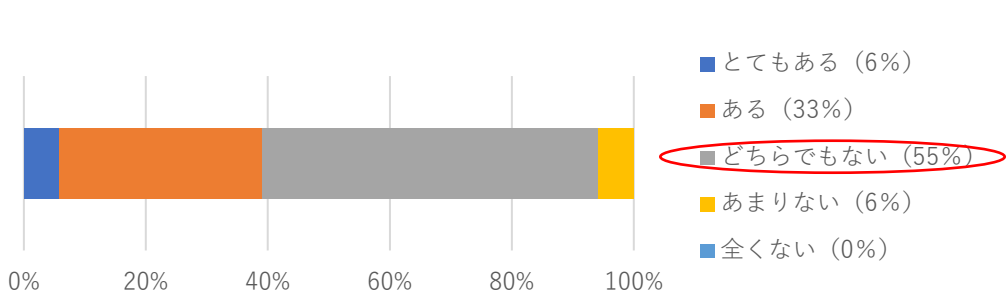
【文化施設】



【特別支援学校】



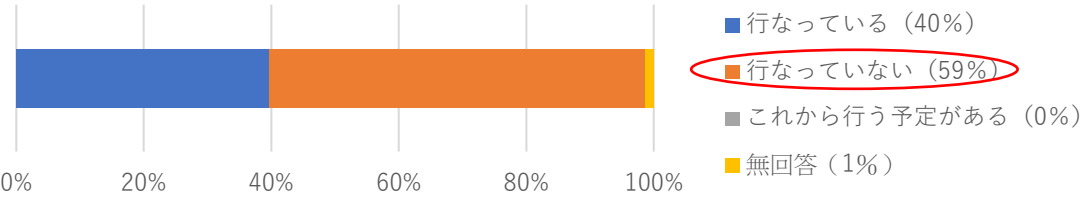
【コミュニティ施設】



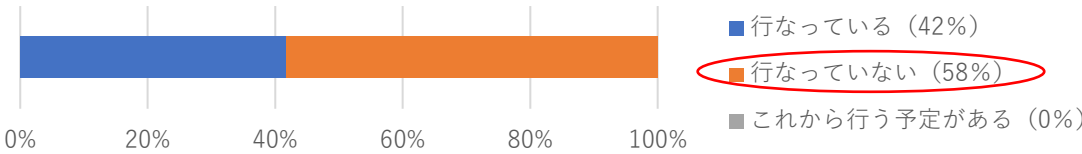
○ 障害福祉サービス、特別支援学校、文化施設とも障がいのある方の舞台芸術活動に関心が多かった。一方、コミュニティ施設では半数以上がどちらでもない・あまりないを回答した。

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 2. 舞台芸術活動を行っていますか

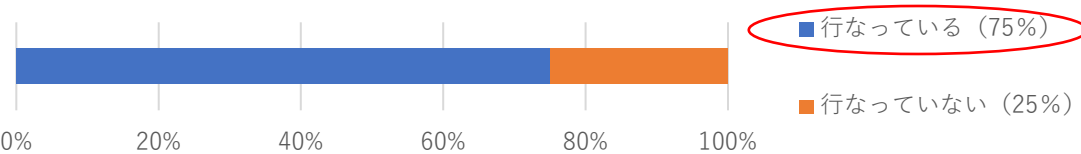
【障害福祉サービス】



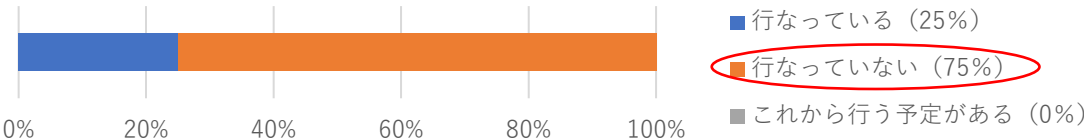
【文化施設】



【特別支援学校】



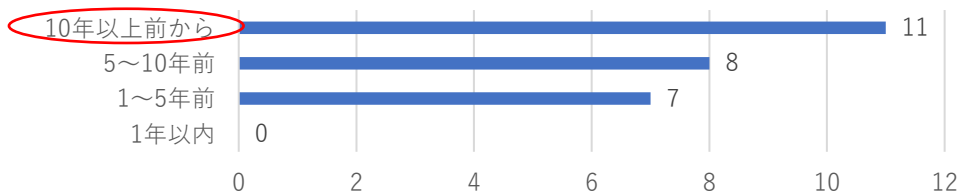
【コミュニティ施設】



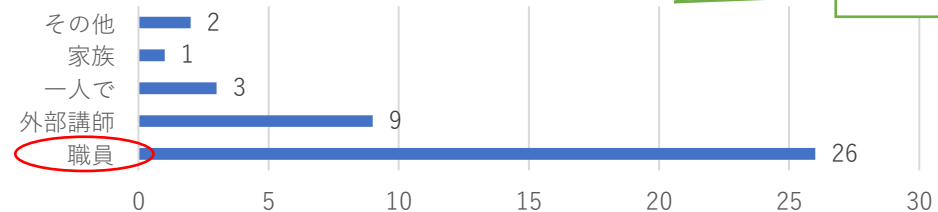
○特別支援学校では、舞台芸術活動の取組みが進んでいる状況が伺えた。障害福祉サービス、文化施設、コミュニティ施設では、舞台芸術活動を行っていない方が多かった。

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 3. 「舞台芸術活動」について、現在の取り組みについて教えてください。

【障害福祉サービス】 いつから

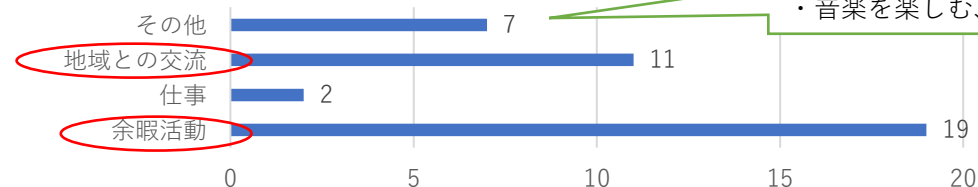


【障害福祉サービス】 誰と



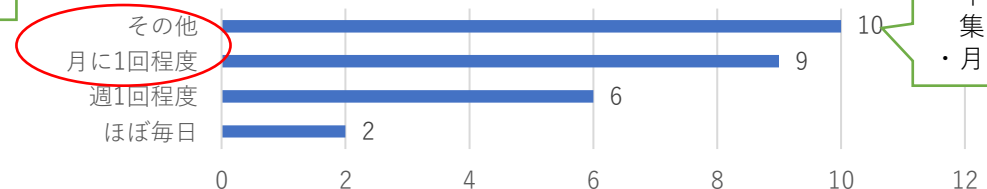
・ボランティア
・プロ、アマチュア演奏家

【障害福祉サービス】 目的



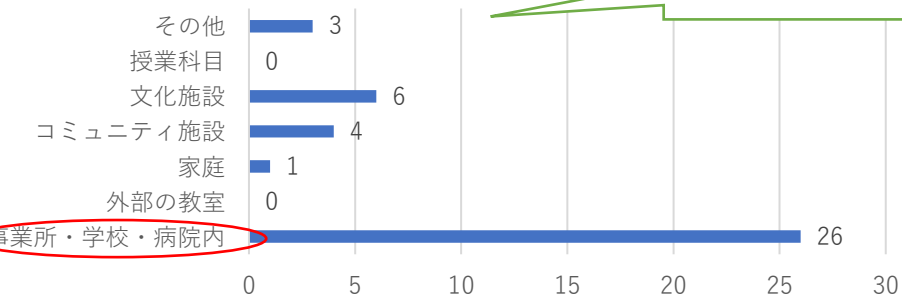
・発表の場
・活動メニューとして
・音楽を楽しむ、触れる場として

【障害福祉サービス】 頻度



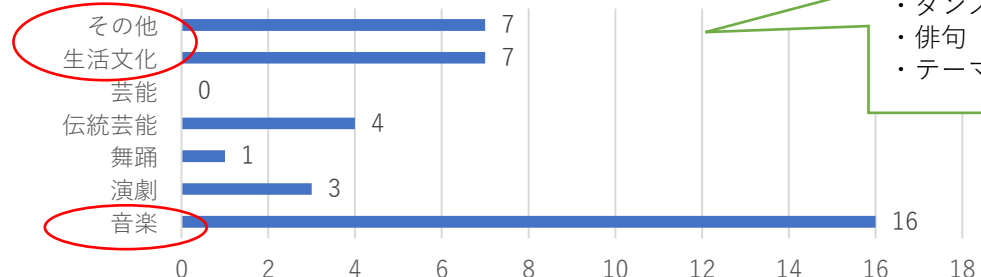
・年に数回程度
・年1回の発表に向けて
集中的に取り組む
・月に2, 3回、週2, 3回

【障害福祉サービス】 場所



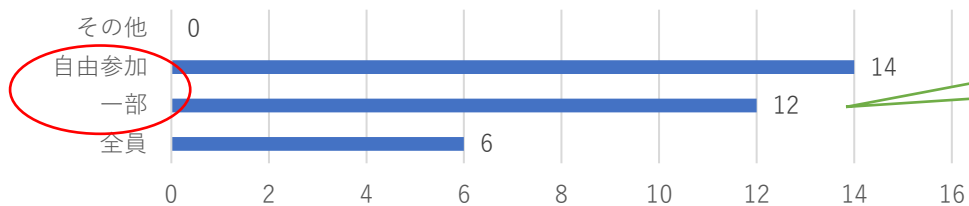
・居室、活動室、イベント

【障害福祉サービス】 内容



・ダンス、人形劇
・俳句
・テーマトーク

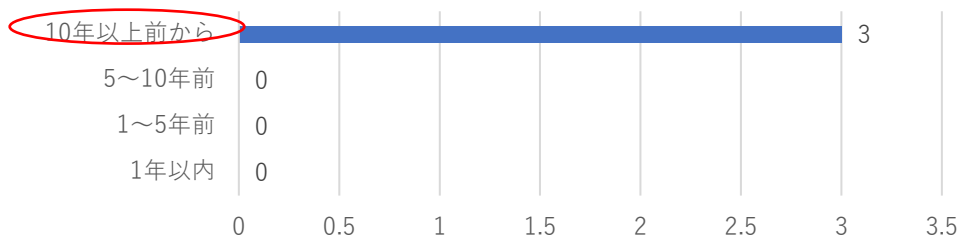
【障害福祉サービス】 誰が



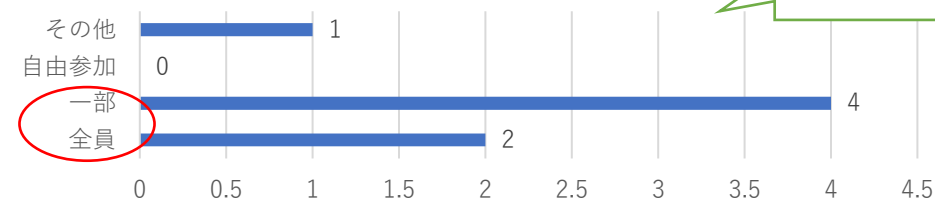
・〇名程度、など人数制限
を行っている。

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 3. 「舞台芸術活動」について、現在の取り組みについて教えてください。

【特別支援学校】 いつから

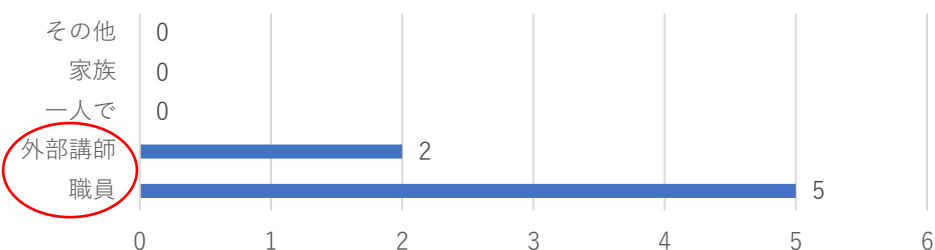


【特別支援学校】 誰が

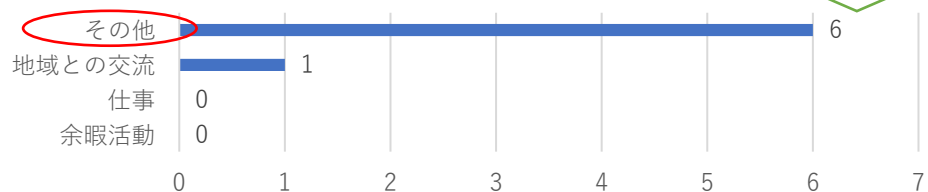


・人数制限
・部活動

【特別支援学校】 誰と



【特別支援学校】 目的



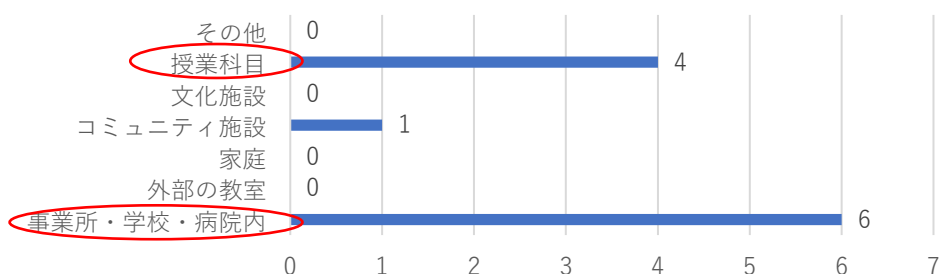
・授業
・学習活動
・部活動

【特別支援学校】 頻度

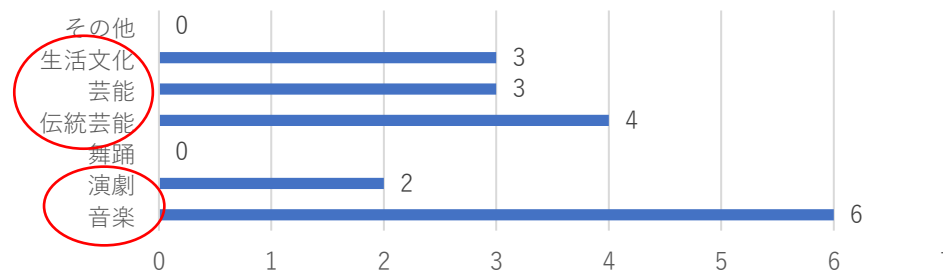


・年に数回
・部活動
・音楽の授業
・行事に向けて

【特別支援学校】 場所

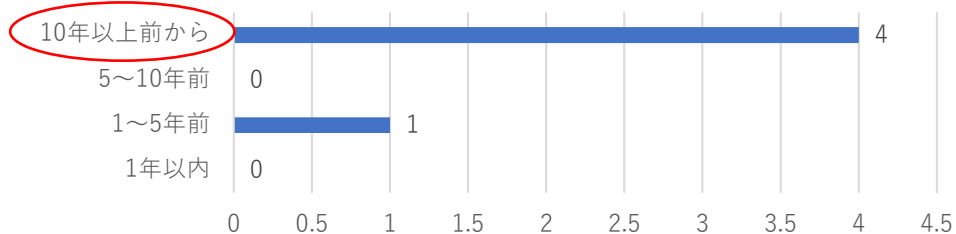


【特別支援学校】 内 容

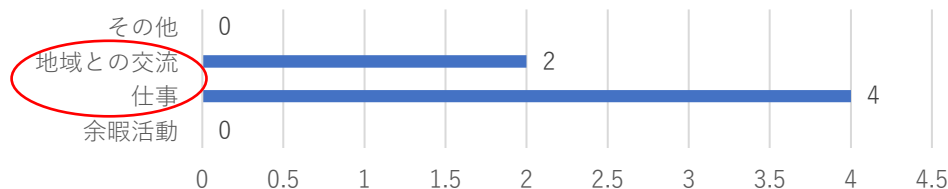


【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 3. 「舞台芸術活動」について、現在の取り組みについて教えてください。

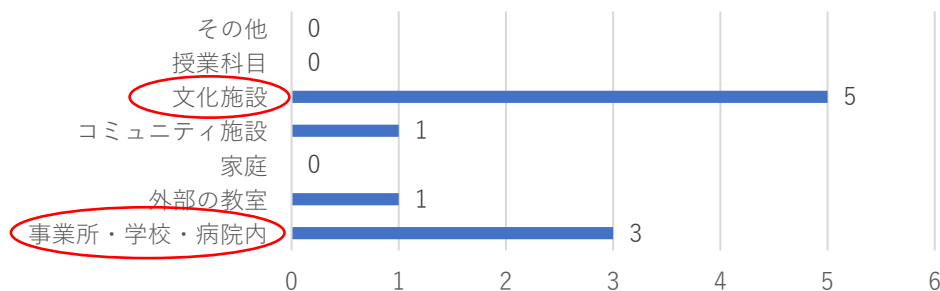
【文化施設】 いつから



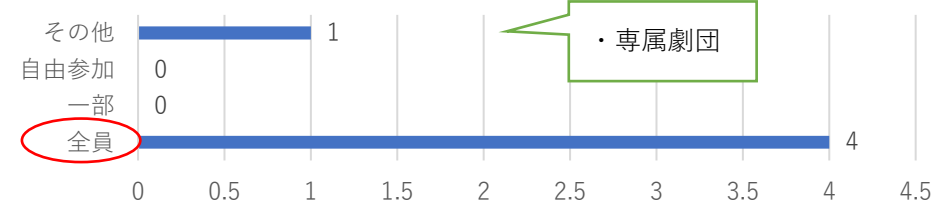
【文化施設】 目的



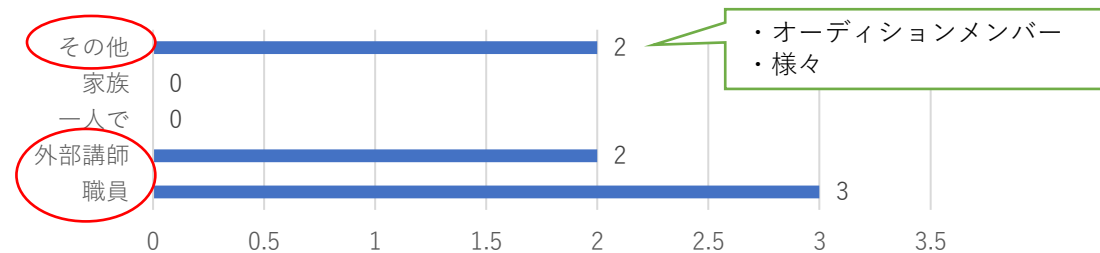
【文化施設】 場所



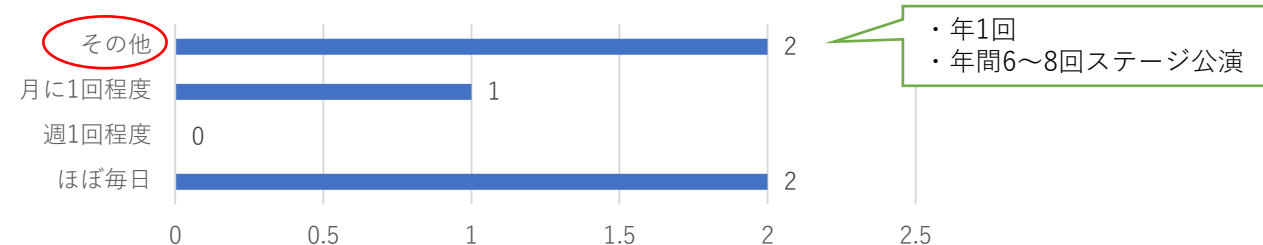
【文化施設】 誰が



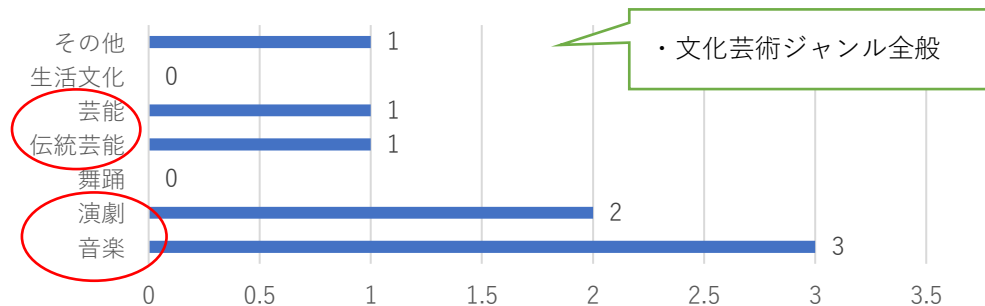
【文化施設】 誰と



【文化施設】 頻度

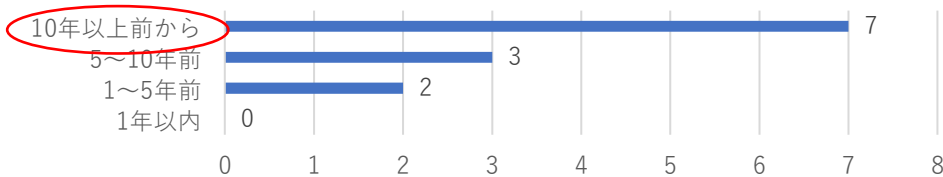


【文化施設】 内容

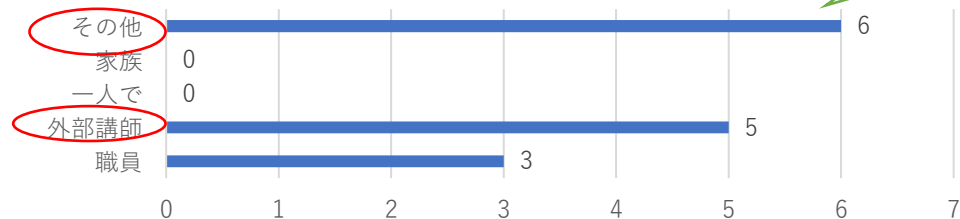


【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 3. 「舞台芸術活動」について、現在の取り組みについて教えてください。

【コミュニティ施設】 いつから



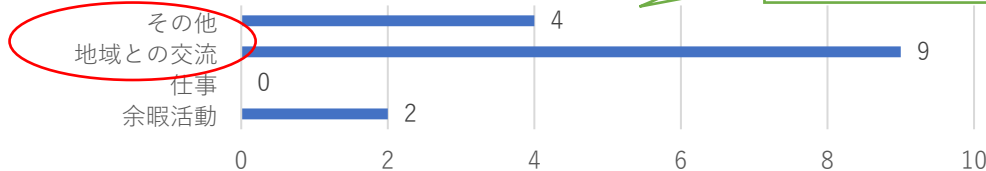
【コミュニティ施設】 誰と



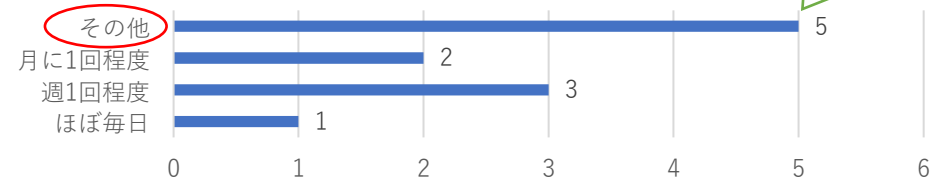
・ 4～10名程度、教室による

【コミュニティ施設】 目的

- ・生涯学習
- ・健康づくり、伝承
- ・地域団体の支援と文化活動振興

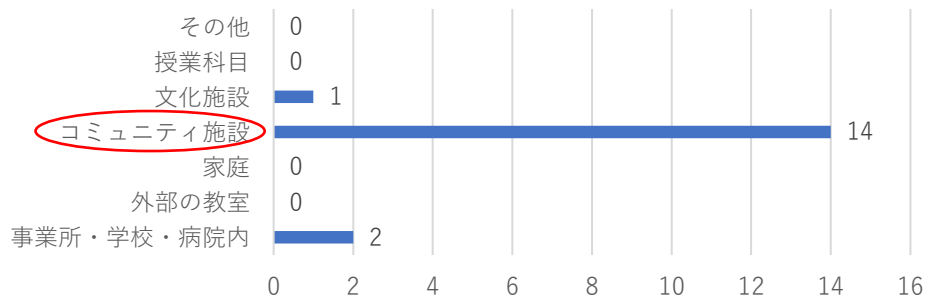


【コミュニティ施設】 頻度



- ・月4回
- ・年に1～2回
- ・不定期
- ・内容による
- ・月2回

【コミュニティ施設】 場所

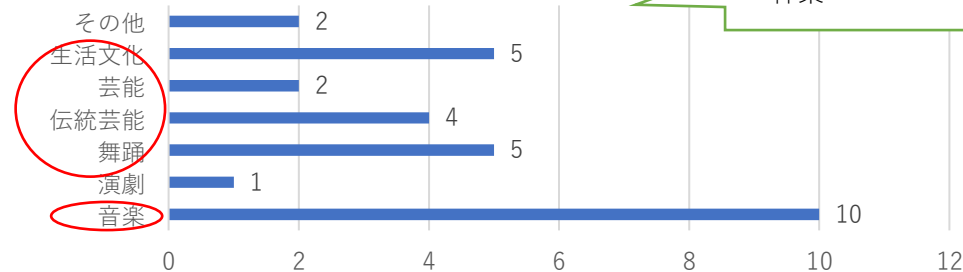


【コミュニティ施設】 誰が

・ 4～10名程度、教室による



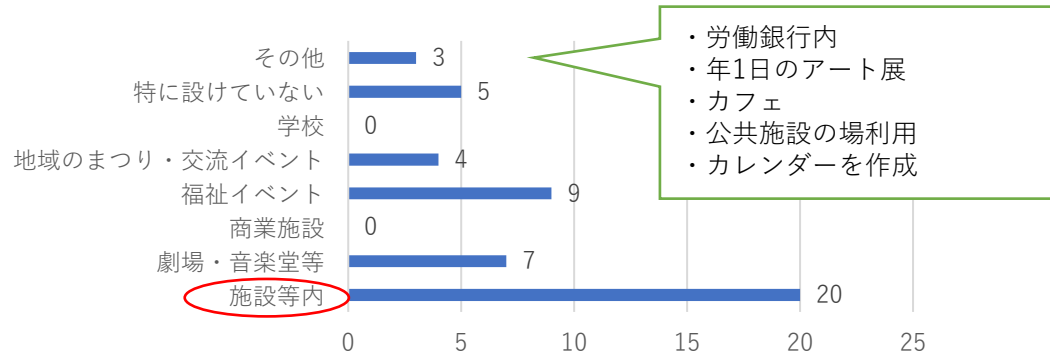
【コミュニティ施設】 内容



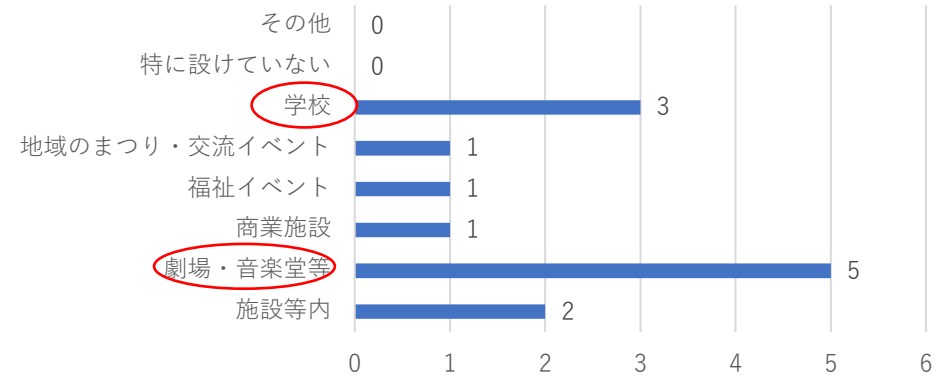
- ・ダンス、フラダンス
- ・コーラス
- ・神楽

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 4. 発表の場はどこですか

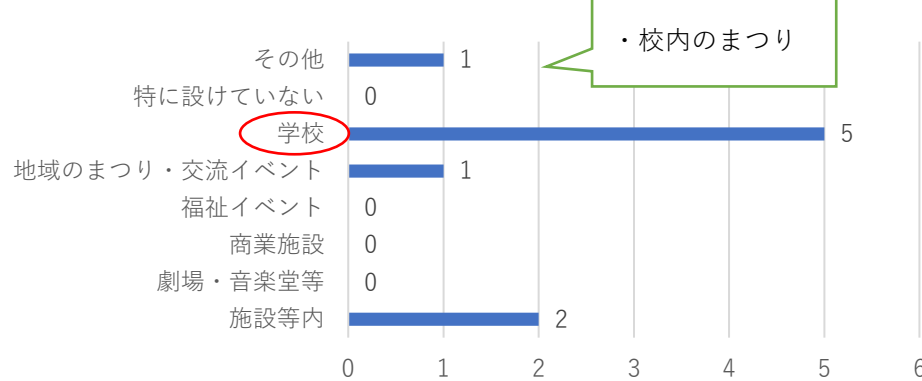
【障害福祉サービス】



【文化施設】



【特別支援学校】



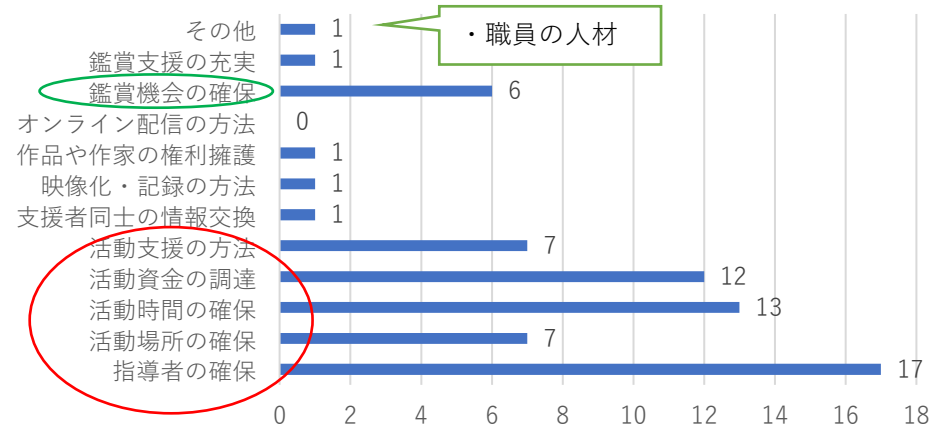
【コミュニティ施設】



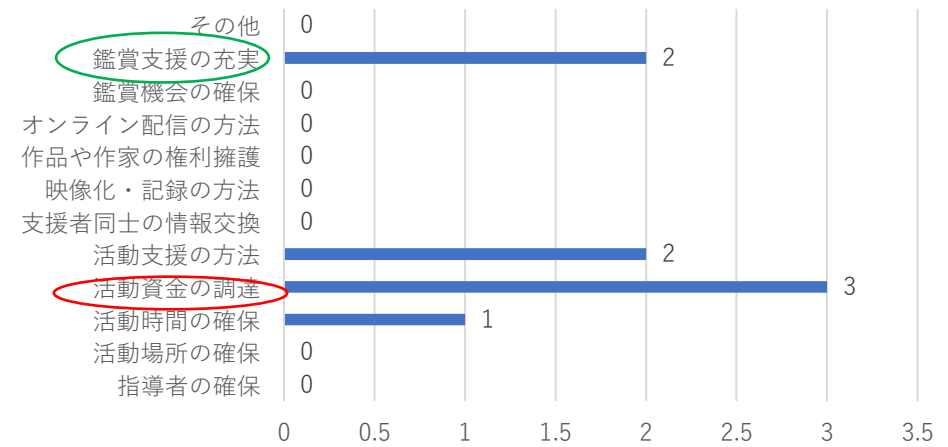
○それぞれの各施設等において発表の場を設けていることが多かった。障害福祉サービスでは、福祉イベントでの発表、文化施設では学校とのつながり、コミュニティ施設では、地域のまつり・交流イベントでの発表も行っている。

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 5. 舞台芸術活動における課題としてありますか

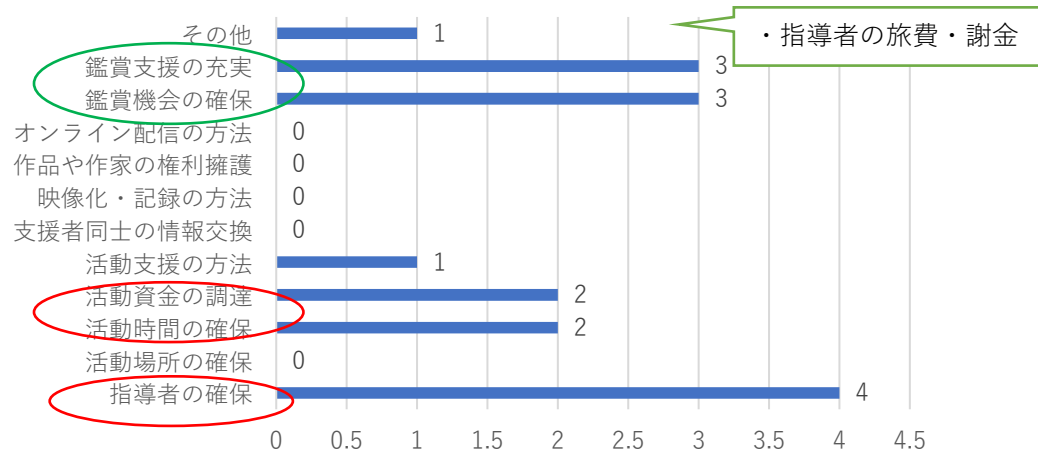
【障害福祉サービス】



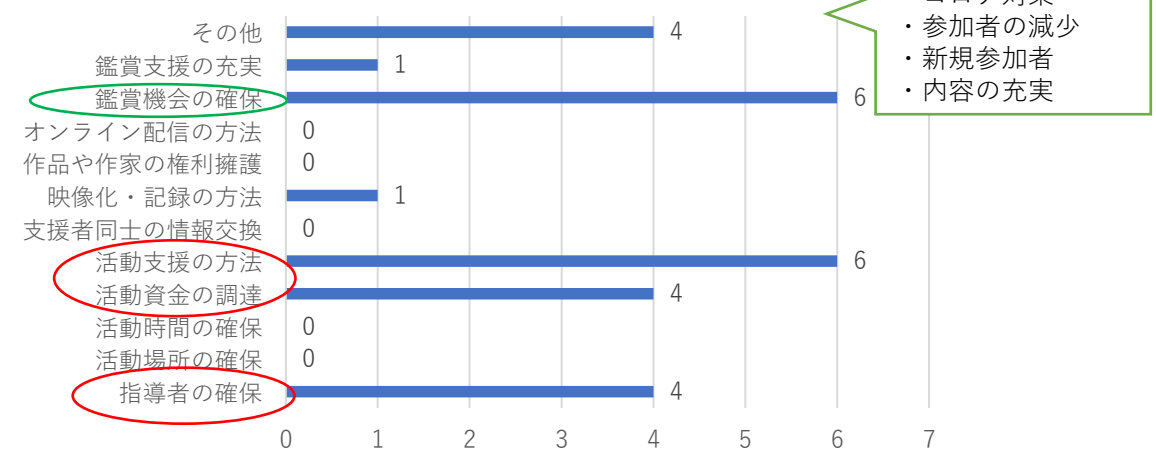
【文化施設】



【特別支援学校】



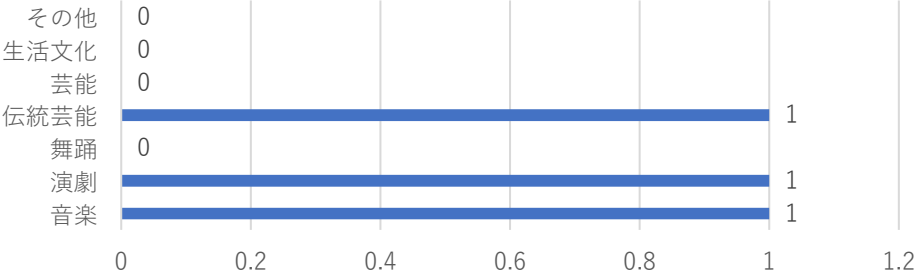
【コミュニティ施設】



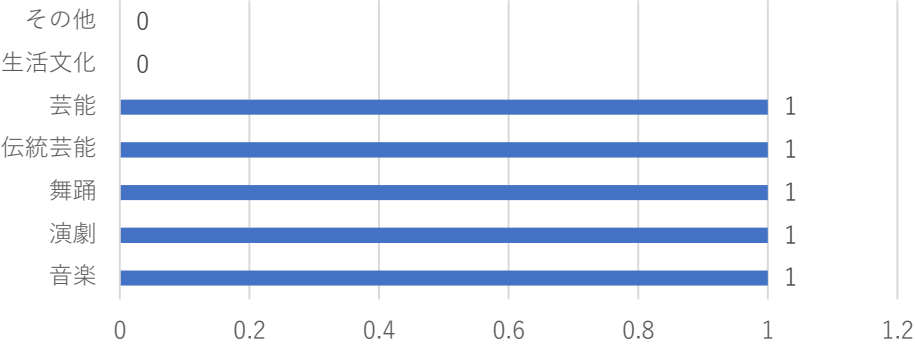
○障害福祉サービス・特別支援学校では、指導者の確保を課題としていたことがわかった。文化施設では活動資金の調達、鑑賞支援の充実の課題が多く、コミュニティ施設では、活動支援の方法や鑑賞機会の確保の課題が多かった。

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 6. 「これから行う予定がある」と答えた方へ
どのような活動を行いたいと考えていますか

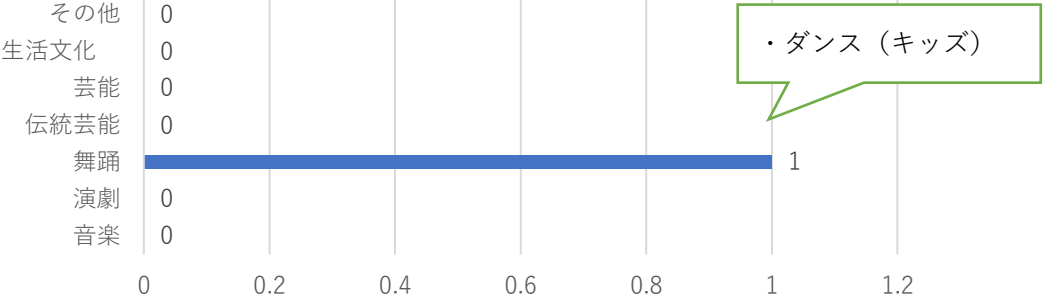
【障害福祉サービス】



【文化施設】



【コミュニティ施設】



【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 7. 「行っていない」または「これから行う予定がある」と答えた方へ
舞台芸術活動を行う上での課題はありますか

【障害福祉サービス】

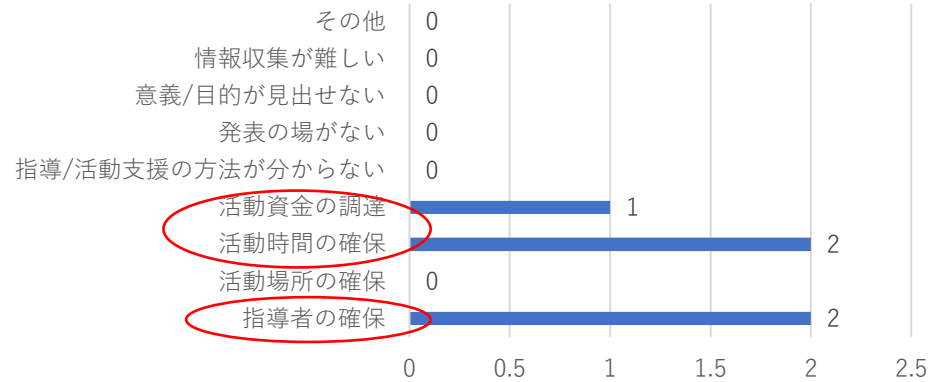
- ・要望や希望者がいない
- ・利用者の関心が低く、ばらつきが多い。
安定した練習の確保ができない。
- ・時間的に余裕がない。



【文化施設】

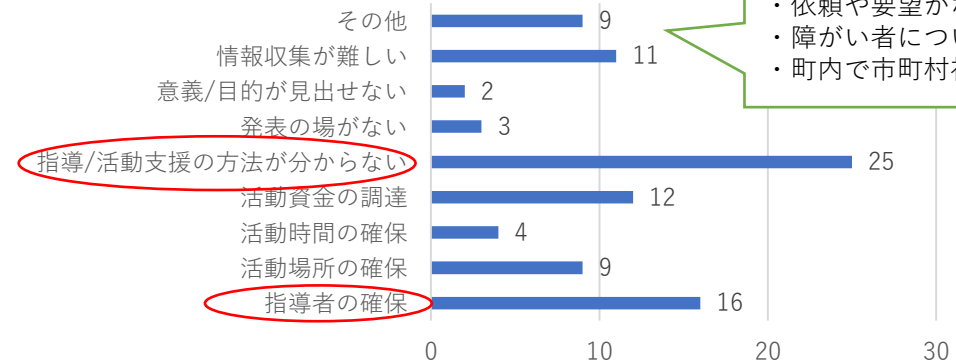


【特別支援学校】



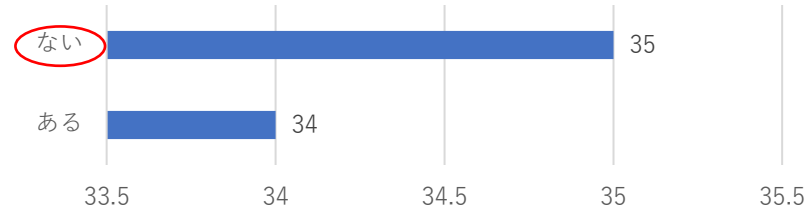
【コミュニティ施設】

- ・貸館業務のため、行っていない。
- ・舞台をする部屋がない。
- ・依頼や要望がない。
- ・障がい者についての情報
- ・町内で市町村社協が取り組んでいる。

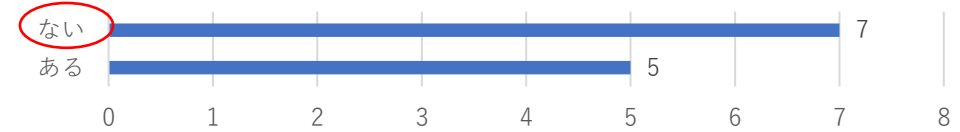


【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 8. これまでに「鑑賞の機会（鑑賞支援）」を設けたことがありますか

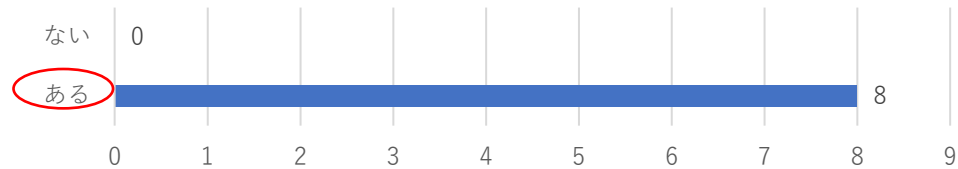
【障害福祉サービス】



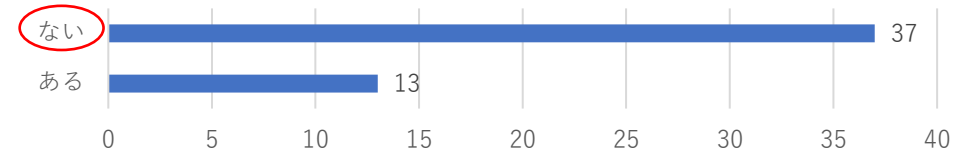
【文化施設】



【特別支援学校】

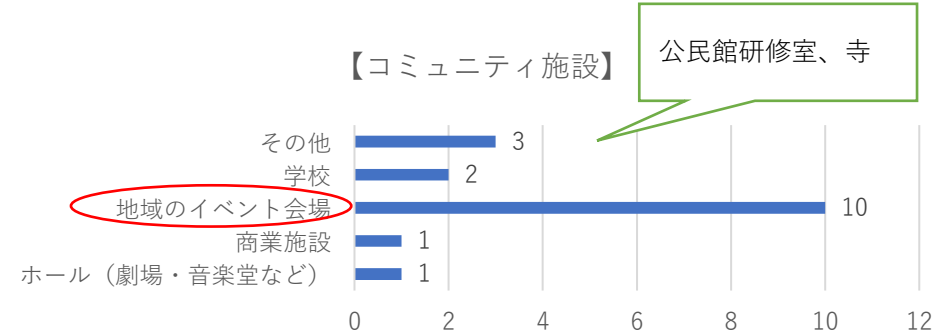
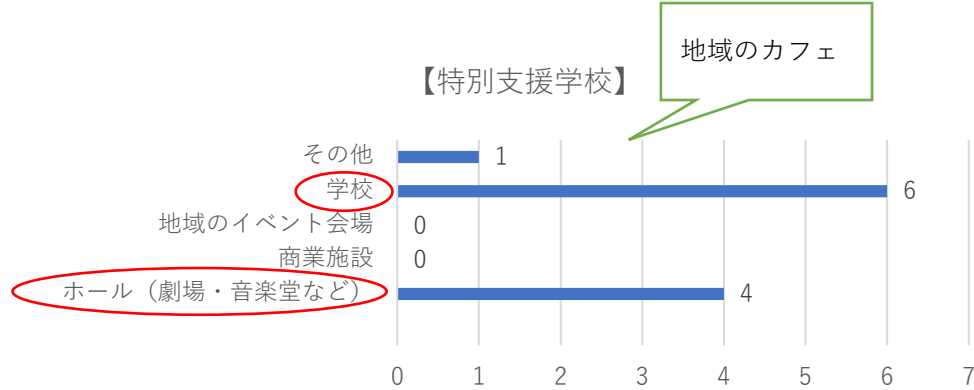
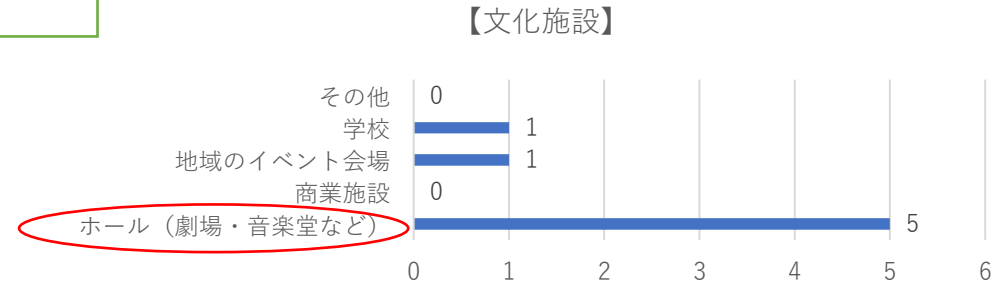
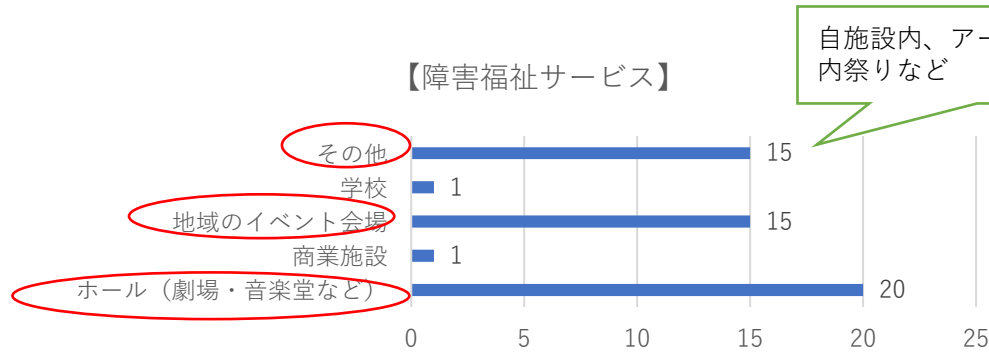


【コミュニティ施設】



○コミュニティ施設では、「鑑賞の機会（鑑賞支援）がない」が多かったが、特別支援学校では全ての回答で「ある」だった。
障害福祉サービス、文化施設ではおよそ半分の施設で「ある」だった。

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 9. 「ある」と答えた方、どこで鑑賞を行いましたか



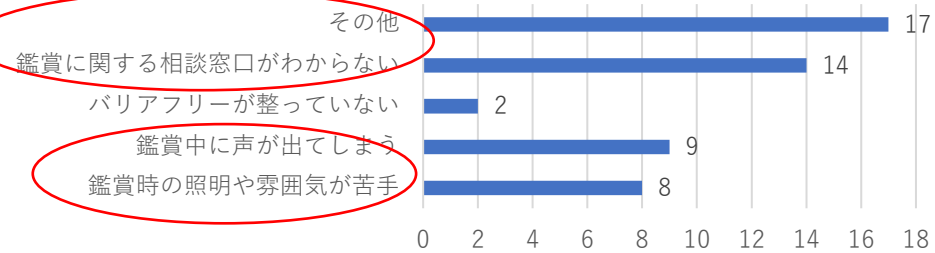
○障害福祉サービス、文化施設ではホール（劇場・音楽堂など）での鑑賞が多かった。特別支援学校では、学校内の鑑賞が多く、コミュニティ施設では、地域のイベント会場での鑑賞支援が多かった。

【調査結果】 施設等での舞台芸術活動について 10. 「ない」と答えた方、「鑑賞の機会（鑑賞支援）」を設けていない理由や課題はありますか

その他の意見より

- ・障がい特性（音が苦手、集中力がない、声が出る、いつもと違う行動が苦手）から難しい。
- ・平日以外、人を貼り付けることが難しい、時間的余裕がない。勤務の問題。
- ・コロナ対策のため
- ・近くで見たい催しをしていない。
- ・外出が難しい。
- ・これから鑑賞機会を設けたい

【障害福祉サービス】

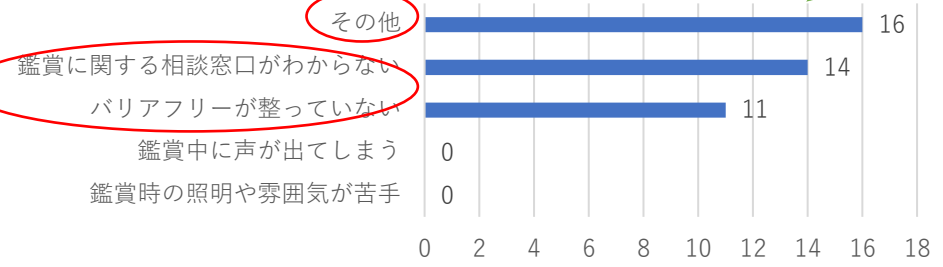


【文化施設】



事業として行っていない。

【コミュニティ施設】



・事業として位置づけていない。
・今まで要望や機会がなかった。
・そこまで手が回らない。
・基本的なことがわからない。
・トイレ設備の問題。

まとめ ～施設等での舞台芸術活動と鑑賞支援について～

【全体のまとめ】

- ・障がいのある方の舞台芸術活動について、関心はあるが、**行っていない割合が多い**。
- ・舞台芸術活動を行っている施設等では、10年以上前から余暇活動や地域との交流として、自施設内で取り組んでいる所が多い。**音楽の取り組みが多く**、その頻度は、施設等によって様々であり、**主に当事者の自由参加や一部参加で施設内の職員と一緒に行うことが多い**。
- ・コロナ禍や地域イベント開催の減少も考慮されるが、**自施設等内での発表機会が多くなっている**。
- ・舞台芸術活動に対する主な課題として、**指導者の確保**、資金の調達、支援方法、**鑑賞機会の確保**などが多かった。
- ・**これから舞台芸術活動を行う施設等**は、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能などを考えているが、**具体的な指導や活動方法が分からず、指導者の確保**について課題を感じている。
- ・鑑賞の機会（鑑賞支援）を設けたことは「ない」施設等が多く、**鑑賞に関する相談窓口がわからない理由が多かった**。

【施設等種別のまとめ】

- ・障がいのある方の舞台芸術活動について、コミュニティ施設において関心がどちらでもない、あまりない回答が目立った。
- ・**特別支援学校では、舞台芸術活動を行っている**状況が、他の3施設等よりも多かった。
- ・**障害福祉サービス事業所・特別支援学校では**、舞台芸術活動に取り組む上での**課題に指導者の確保**を優先的に挙げていた。
- ・**文化施設とコミュニティ施設では**指導者の確保よりも**活動支援の方法・資金調達の課題**が主であった。
- ・**4施設等とも鑑賞の機会の確保や充実について課題を感じている**。
- ・鑑賞の機会（鑑賞支援）を設けたことが「ある」施設等は、**ホールや地域のイベント会場で行うことが多い**。
- ・鑑賞の機会（鑑賞支援）を設けたことが「ない」施設等は、今まで考えたことがないが、これから取り組みたいという意見もある一方で、**事業として位置づけていない、要望がない、障がい特性から難しい**という意見があった。

考 察

【アンケートについて】

- ・ 今回のアンケート対象を障害福祉サービスと特別支援学校（福祉分野）に加えて、文化施設とコミュニティ施設（地域分野）を対象として試みた。福祉分野の施設等では毎日の中で、障がい者と接しており、知的・身体・精神・発達などの障害種別を想定されるだろうし、地域分野の施設等では、視覚・聴覚障がい者の想定が多いかもしれない（地域の施設等に訪れる知的・精神・発達障がい者は外見では、一般と見られる可能性もある）。
- ・ 鑑賞の機会（鑑賞支援）という言葉自体が、聞きなれない、イメージしにくい印象もあったかもしれない。

【舞台芸術活動の取り組みについて】

- ・ 音楽の取り組みが多いことがわかった。当事者の舞台芸術活動の関心は、様々であることが予想でき、またコロナ禍の影響や個別支援の配慮等により、全員参加よりも自由参加が多く、自施設等内の発表が主だった。音楽は誰もが幼少期から学童期において体験しており、施設等職員も取り組みやすい活動と言える。
- ・ 指導者の確保の課題を挙げていることは、時には専門の指導者による取り組みを望んでいる。しかし、指導者へ支払う講師料や旅費の設定や、年間通じて複数回の指導日を設定した場合の資金の予算組みや年間実施計画を作りにくい、見通しを立てにくいことについて悩んでいるのではないだろうか。また指導者に関する基本的な情報がわからないこともあるかもしれない。
- ・ 鑑賞の機会や支援について、特別支援学校では授業科目として取り組んでいる様子が伺える。特別支援学校卒業後、障害福祉サービスの事業所では、鑑賞の機会や支援が少なくなっていく傾向が見られる。このことは、鑑賞できる舞台芸術の機会が週末に集中すること、障害福祉サービスの事業所では、週末に職員を貼り付ける余裕がなくなることが推測される。また、鑑賞に行くことについて、関心のばらつきや障がい特性などによる対応の難しさも感じられる。
- ・ 鑑賞の機会の確保をしたいという課題を誰もが感じている。鑑賞したい物をより身近な所でというのであれば、コミュニティ施設の役割や文化施設の強みを生かした、「福祉×地域×芸術」の好事例の取り組みが期待されているかもしれない。

アンケート結果から見えてきた取り組みの一例として・・・

見えてきた課題（困りごと）

- ・指導者がどこにいるかわからない
- ・年間予算はどれくらい必要だろう
- ・支援方法がわからない
- ・鑑賞したいが、支援や対応が困難など

地域



【障害福祉サービス】
利用者の生きがいや楽しみ
として文化芸術活動の推進、
ニーズの潜在



【特別支援学校】
文化芸術活動を通じた
学習、地域交流
ニーズの潜在



【コミュニティ施設】
地域の拠点、生涯学習活動、地域住民と
の交流・イベント、地域人材情報

ボランティアによるサポート



ボランティアによるサポート

鑑賞機会・発表機会の場の
ひとつとして…



ボランティア
によるサポート

【支援センター】

相談対応、ニーズの把握、
関係者との連絡調整、講師
派遣依頼、ボランティアの
養成と確保、企画案作成



【文化施設】

講師（アーティスト）とのネットワーク
や紹介、企画力、鑑賞支援のサポート

最後に ～アンケートを通して見えてきた支援センターの役割～

●県内の障がい者の舞台芸術活動における情報発信

- ・ 障害福祉サービス、特別支援学校、文化施設、コミュニティ施設における個別の事例などを調査訪問して、情報発信を試みる。
⇒ 具体的な行動：アウトリーチの実施、ワークショップの企画実施（参加型音楽会など）

●支援センターが紹介できる指導者（講師、アーティスト）の公表と情報発信

- ・ 支援センターが紹介できる指導者を一覧表にして、指導者名（写真）と内容をホームページに掲載する。
⇒ 具体的な行動：県内在住指導者の発掘と支援センターとの提携に向けた協力依頼、整合性のある講師料設定づくり
文化施設・コミュニティ施設とのネットワークを通して地域の講師の情報収集・発掘

●鑑賞の機会（鑑賞支援や発表機会）の企画実施

- ・ 地域の文化施設やコミュニティ施設における鑑賞の機会（鑑賞支援や発表機会）が実施できる企画を行う。
⇒ 具体的な行動：支援センターと文化施設やコミュニティ施設との共同企画を考える。
ボランティアの募集と育成と運営を行う。
出張型の鑑賞機会の提案

今回アンケート回答をいただいた施設等への地道なアウトリーチと意見交換の積み重ねが具体的な行動につながる。支障のない範囲で訪問の様子などをSNSで発信して構築過程を知っていただき、舞台芸術活動や鑑賞支援を考える雰囲気醸成していく。